

4
ROUND

SEP 2012

**RACING
PRESS**
apan

**2012 SUPER TAIKYU ROUND 4
OKAYAMA**



SUPER TAIKYU SERIES

S耐

2012 Round 4
OKAYAMA

今年のS耐久シリーズは第4戦を迎えいよいよ後半戦に突入した。ロンドンオリンピックでは「なでしこジャパン」ですっかりとお馴染みとなった女子サッカー。その一員として活躍のチーム岡山湯郷 Bell が本拠地を置く美作市にある岡山国際サーキットで開催された。全日本F3レースの第9戦・10戦と同日開催となり、両クラスともに白熱したレースが展開された。

SUPER TAIKYU & F3 RACE in OKAYAMA
8/25-26

Editor
吉川朝恵

Photo
鎌谷康博
中村住史
近江 勲
小澤克仁

#24号車のGT-R/GT3が初勝利!

激動の3クラスはGS350が勝利!



AUTOBACS

【第3戦決勝結果】

- GT3 優勝 24 スリーポンド日産大学校 GT-R
藤井誠暢 / GAMISAN / 千代勝正
- 2位 16 ケーズフロンティア BMW Z4 GT3
阿部 翼 / HIRO / 飯田太陽
- ST-1 優勝 9 Faust Racing Team
堀主知ロバート / 佐藤 茂 / 岡本武之
- 2位 51 DIAMANGO BMW Z-4
余郷 敦 / 石原将光
- 3位 3 ENDLESS-ADVAN-380RS-C
峰尾恭輔 / 谷口行規 / 高木真一
- ST-2 優勝 20 RS オガワ ADVAN ランサー
大橋正澄 / 阪口良平 / 花岡翔太
- 2位 30 RS オガワ ADVAN ランサーII
青木琢磨 / 成澤正人 / カルロス本田
- 2位 969 マッドクロック三菱ランサーEX
神子島みか / Wappaya / 山田真之亮
- ST-3 優勝 80 PETRONAS TWS GS350
吉本大樹 / 佐藤晋也 / 脇阪薫一
- 2位 15 岡部自動車 DXXCCEL チームテツヤ
長島正明 / 田中 徹 / 田中哲也
- 3位 35 asset テクノ Z33
小泉和寛 / 吉田広樹 / 堀田 誠
- ST-4 優勝 62 ホンダカーズ東京 SUNOCO インテグラ
塩谷烈州 / 太田侑弥
- 2位 58 ウィンマックス TEIN ワコーズ KRP
小林康一 / 関 豊 / 木下 淳
- 3位 18 コスモニック FK-ings DC5
浅野武夫 / 森 正行 / 水書健司
- ST-5 優勝 36 エンドレスアドバントラストウィッツ
添田 正 / 岩谷 昇 / 井尻 薫
- 2位 19 BRP-HYPYER ECU C72 制動展 J'sフィット
奥村浩一 / 松田智也 / 西田公也
- 3位 26 エンドレスアドバン紅天狗 ヴィッツ
山本幸彦 / 番場 琢 / いとうりな

今季初V



スリーボンド日産大学校GT-R

近藤真彦監督の率いるGT3クラスのスリーボンド日産大学校GT-Rは今年、第2戦からの参戦。今回、ペトロナスSLS2台はセパンに出場で欠場となりケーズフロンティアBMWとの一騎打ちとなった。GT-Rは必勝体勢でのチームの意気込みは強くドライバーに千代勝正を加えての完勝狙い、103周を走りきり見事に優勝を飾った。

今季初V



PETRONAS TWS GS350

出場台数も多く激戦区となったのはST-3クラス。スタート直後に多重クラッシュがありいきなりセフティーカーが入りその間にペトロナスTWS GS350は2周目で早々とドライバーチェンジを決断、着実に順位をあげ今季3度目の表彰台を初優勝で飾った。



PRESS TOPICS

セフティーカーの先導で事故処理が行われる間に、各チームは戦略を変更。ドライバーチェンジが行われピットは慌しい状況となった。



スーパーGTでも馴染みの佐々木孝太選手の率いるチームコータはスタート直後のバックストレートの多重接触事故によりチームコータの2台がその場でリタイア。セフティーカーが導入され波乱のレース展開となった。





近藤監督は44台エントリーの
頂点となる総合優勝を飾った。
藤井、GAMISAN、千代の
3ドライバーと見事なピット
ワークで3時間を走りきり今季
V1を達成。



ST-5クラスの19号車はSCラン中の追い越しがペナルティとなりドライブスルーが科せられたがレース後に誤審と判明。



DUNLOP